

Mランドニュース Vol.165

丹波ささ山校 令和3年1月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

真の幸福は、人を幸せにすることによってのみ得られるのです。

森 信三先生

頭年のごあいさつ

代表取締役会長

小河 吉彦



あけましておめでとうございませう。皆様にとつて実り多き一年となりますよう、心より祈念いたします。昨年とは未知から多くを学ぶ一年となりました。初めて迫られる決断や、失ってあらためて気付く無常。一日いちにちを丁寧に生きる中で、当校も少しは成長できたのではないかと感じます。時代の移り変りの早さは、急速なデジタル化とともに、新しい価値が生み出され、それについていけなければ、生き残れないという危機感を覚えるくらいです。しかし、果たして便利な世の中は、人を幸せにしてくれるのか。東日本大震災後、人々の価値観が大きく変化したように、今、さらに大きな変化の時を迎えようとしているのではないかと思うのです。

創業者 故小河二郎前会長は、二十一世紀は「楽美愛真」の時代であり、「楽美愛真」こそ、二十一世紀の扉を開くキーワードだと信じ、経営をしてきました。

次の時代の扉を開くキーワードは何か。大きな変化の時を迎えようとしている今だからこそ、自分たちが信じて、創る、次の時代のキーワードを定めなければならぬと思うのです。

「詩舞奏演」の時代へ。それは、日常を丁寧に生きることにそのものが美しい詩となり、人間の一挙一動を世のため人のために華麗な舞のように立ち振る舞い、相手を思い発する言葉は心地よい旋律を奏で、新しい発想と行動で、プラス思考な社会を思い描き人生を演じつづける時代になる。

昨年、私は「芸術」という言葉との出会いが多くありました。生きることを芸術として、また、人生自体を芸術としてとらえることができたら、どれだけ豊かで幸せなことだろうと思えます。コロナ禍によるソーシャルデ

イスタンスや、急速なデジタル化により、どこか心が満たされない状態が続いている中、「詩舞奏演」の生き方ができれば、心は満たされていくと思えます。いつの時代になろうとも不変である「愛の心」。これからの時代に必要な心こそ、「愛の心」と信じます。



職員室に掲げられた「愛」

二〇二一年も社員一丸となり顔晴ってまいります。本年もどうぞご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。(詩舞奏演は小河会長の言葉です)

「五年」に思う

副管理者 谷口 健



地元スーパーで勤務していた私は、心機一転、教習指導員としての道を選び、二十三年を迎え今日を迎えます。

その間、当社館内のカフェ「ミロ」で、店長をしていた妻との結婚式では、当時、お元氣であった故小河二郎前会長にもご出席いただき、お祝いのお言葉をいただいたことは、今でも忘れることはできません。

現在、二人の子供にめぐまれ、そして母と共々家族五人で元氣に過ごしております。

「五年」の影響なのか、人前になる活発なタイプではない私が、教習指導員を目指したのは、自動車の運転をすることが好きな私なら、これから運転免許を取得しようとする人に、運転の「楽しさ」をお伝えできるのではないかと思っただけです。

教習指導員としてはまだまだ道半ば。しかし、ようやく一人ひとりのゲストに合った伝え方が、できるようになったかな...と感じています。

業務では教習・検定のほかに、受付でお客様の対応と

教習・講習関連の事務処理など、お客さまに気持ちよく来所していただけるよう努めております。

私生活では子育てを終えられた諸先輩方から、「子育ての時間はあっという間、一緒にいるときの一分一秒を大切に頑張って」と、などのアドバイスも受け、小学生の長女と幼稚園の長男に、私たちが夫婦で健やかな成長を願う、子供たちと向き合っています。

休日には田畑の農作業でリフレッシュし、晩酌が唯一の楽しみです。

Mランドにより私の生活や考え方に、大きな変化や影響を与えていただいたことにより、私自身も、「人の役に立つ」ことで、地域社会とMランドにお返しができる取り組みを、これからも続けてまいります。



毎日、にぎやかな谷口ファミリー

新年のごあいさつ

代表取締役社長

井階 正義

新年明けましておめでとうございます。

旧年中皆様方には、弊社に何かとお世話になり、心より御礼申し上げます。

それぞれ、ご家庭におかれまして、おだやかな新年をお迎えになられたことと存じます。

さて、皆様方にもご自分の好きな「風景」があるのではないのでしょうか。私の好きな風景。春は篠山城跡と王地山に咲く満開の桜です。圧巻ともいえるその美しさに、言葉をうしないます。



毎年、感動の満開(丹波篠山市HPより)

夏は夜空に浮かぶ無数の提灯に彩られた「デカンショ祭り」。篠山城から打ち上げられる花火は、ライトアップ

された美しくそびえ立つ石垣と相まって、幻想的な花火を見ることが出来ます。

秋はキンモクセイが香り、丹波篠山の空は高く澄みわたります。当地は古来より民衆の手によって、地域ごとに神事が伝統的に受け継がれています。歴史ある雅やかな山鉦は、先人たちから受け継がれたもので、丹波篠山に生きるものの誇りです。冬は朝日に輝く雪景色の山々に、見るものの心が洗われます。

この丹波篠山も、新型コロナウイルス感染症拡大により、中止を余儀なくされた行事も多く、いつもの風景を楽しむことが叶いませんでした。

このように昨年四月、弊社は一か月以上におよぶ営業自粛という、先の見えないトンネルに入り、経験したことのない不安な日々を送ったことは、私たちの心に深く刻まれ、あらためて「お客様が来てくださる」、「仕事ができる」という幸せに気付かされました。

そして私たちは再出発を迎えるにあたり、お客様に感謝を込めた元気な「あいさつ」と「笑顔」と、最高の環境

で教習を受けていただく「掃除」という、Mランドの原点に立ち返りました。

元の生活に戻すことができなくなった今、新しい閃きや工夫で、社会の流れに即応していかなければならないのも事実です。

社会が閉塞感に包まれていく中にあっても、Mランドは「変」をもとに、心を創る自動車教習所を目指します。お越しになるすべてのゲスト、パートナリーショップの皆様、地域の皆様、社員とその家族に、「希望」を感じていただけの教習所であるよう願っています。

日本をはじめ世界がこの困難を乗り越えたとき、希望を感じられる新しい社会になることを願います。

本年も何卒ご指導ご鞭撻と、皆様の応援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



No マスクで笑える日が来ることを願って

心を磨く

變チーム 前川 昂希

毎朝とはいかなかった、二月のボランティア活動。それでも延べ三十名のゲストが、凍える朝も白い息を吐きながら参加されました。

その中「トイレ掃除に学ぶ会」はゲストの中で一番人気。一階ロビーのトイレ横には、トイレ掃除で使う道具とは思えない様相で、道具置き場が設置してあるのも気になることでしょう。



道具の整理整頓から

この日初めてボランティア活動に参加されたのは、滞在中にお友だちになられた平岡真菜様、江副礼菜様、生駒美月様の三名です。

あいさつから始まり、並べられた道具の説明は、おおよそ小・中・高等学校で行なってきた掃除とちがいで、興味深く聞かれました。運転であれスポーツ、仕事、掃除もおなじ、日常生活

編集後記

株式会社 あなたと健康

社から、平成二十六年に発行された「日本がもっと好きになる」を、当時読ませていただいたが、社会をよくするためのヒントが三章にわたり教授されていると感じました。

日本中、拡大化するコロナ問題ですが、本誌文中、デイリーテレグラフ紙(イギリスの新聞・二〇一一年三月、東日本大震災三日後に掲載された記事より)の一文を思い出しました。

「一九二三年の関東大震災では東京が灰と瓦礫の海と化し、先の世界大戦では米軍の空爆によって京都を除く日本中の町が焦土となった。一九九五年には阪神淡路大震災があった。しかし、崩れるたびに、日本人は再建してきた。より大きなもの、より優れたものへと。だから日本人はまた同じことをやってのけるだろう」

この困難も、日本人の英知により、いつか乗り越えることができるでしょう。さらなるデジタル化だけではなく、「思いやり」を合わせもった日本社会になることを願います。(徹)

今月のありがとうカード

Mランドの皆さま

二週間、大変お世話になりました!免許合宿は一人で来たので、はじめはとても不安だったのですが、皆さんがとても優しく教えてくれたので、充実した二週間で過ごせました。免許合宿、ここを選んで本当によかったなあと思いました。これからどんどん寒くなるとおもいますので、どうかお体に気をつけてお過ごしください!ありがとうございます。谷口 爽 様



一所懸命にすれば、楽しいものです